選択法による TCT 創造性検査作成の試み（3）

そのⅠ 標題づけテスト

○高下 梓¹・久米 稔²・黒岩 誠¹・寺澤美彦³・伊賀憲子⁴

(¹明星大学・²適合性評価研究所・³日本福祉教育専門学校・⁴文化学園大学)

キーワード：創造性検査 選択法 大学生

An attempt of making Test for Creative Thinking (choice method version)

Azusa TAKASHITA¹, Minoru KUME², Makoto KUROIWA¹, Yoshihiko TERASAWA³, and Noriko IGA⁴

(¹Meisei Univ., ²I.C.A., ³Nihon Fukushi Kyoiku Col., ⁴Bunka Gakuen Univ.)

Keywords : Test for Creative Thinking, Choice method, University students

はじめに

従来、TCT 創造性検査は反応の自由記述という方法で実施されてきた。しかしこの方法では反応が多種にわたることから採点の難しさや標準化の困難さがあるため、この方法のほかに選択法による TCT 創造性検査の作成が試みられた。その下位テストの結果を報告する。

方 法

被験者：東京都内私立大学生男女 457 名。

検査課題：選択法による TCT 創造性検査の言語性下位テストより標題づけテスト。

手続き：標題づけテストを選択法で実施し、全反応に対する各基本カテゴリーの選択率および反応例ごとの選択率を求めた。標題づけテストは、課題として提示したストーリーに適した標題を考えさせるテストで、基本カテゴリーの採点基準は次のとおりである。

d：課題の常識的枠組みを受け入れた発想

m：課題の枠組みを受け入れながら視点転換を図る発想

o：課題の情報のうち特定の情報に着目し、不必要な情報を捨象した柔軟な発想

e：課題の枠組みに全くとらわれない、かけ離れた発想

dmoe の各基本カテゴリーから代表的な反応を 4 つずつランダムに質問紙に記載し「気に入った順に記入してください」という指示により、1 個選択する群（表 1・表 2 の 1 択）、2 個選択（同 2 択）、3 個選択（同 3 択）、4 個選択（同 4 択）の 4 条件で実施した。

結果と考察

選択数別の dmoe の出現率（第 1 選択された回答）を表 1 に示す。カテゴリー別の出現率は、どの質問紙タイプでも d が最も多かった（35.4%～46.2%）。d の出現率は 1 択～3 択では 35.0%～37.5%といずれも 35%前後の出現率を示し、4 択は 46.2%と他の質問紙タイプに比べて出現率が高かった。ついで多かったのは m（18.9%～28.5%）であったが、2 択においては e の出現率の方が m よりも高かった（29.1%）。o の出現率はどの質問紙タイプにおいても 10%台と、出現率の最も低いカテゴリーであった。

選択数別の具体的反応例の選択率の変化を表 2 に示す。選択率が多かった反応例は、1 択では m3、d3、e4、d1、2 択は d3、d1、m3、e1、3 択は d1、d3、m3、m1、4 択では d1、d3、d2、m1 であった。d の選択率は選択数による変化は窺われず、反応例ごとの選択率では 1 択と 2 択では d3 が、3 択と 4 択では d1 が高くなる傾向がみられた。また、o2 は 1 択～3 択において選択されなかった。

m については、1 択～3 択の質問紙タイプにおいて m3 の選択率の高さが示された。

o で選択率が高かったのは o1 と o3 であった。1 択～3 択は o3、o1 の順に多く、4 択のみ o1、o3 の順であった。

e に属する反応例の選択率については、2 択と 1 択において 10%以上の選択率を示した反応例がみられた（e1、e4）。

提示した 16 種の反応例の第 1 選択における出現率は、選択数により異なっていたが、d あるいは m の反応例から選ばれる傾向が高かった。ただし、1 択と 2 択では e タイプからも選ばれる傾向がみられ、3 択および 4 択においてはより満遍なく選ばれる傾向がみられた。第 2 選択以降における反応例の出現率と、選択数別の傾向を更に検討する必要がある。

因みに、TCT 創造性検査（原版）における基本カテゴリーの理想的な反応分布形は d=60～50、m=25～30、o=10～15、e=5（数値はいずれも%）であることから、これらの値に近い検査結果が得られることが望ましいと言える。

表 1 選択数別基本カテゴリー出現率

(N=1 択 130, 2 択 117, 3 択 104, 4 択 106. 数値は%)

カテゴリー	1択	2択	3択	4択
d	35.4	35.0	37.5	46.2
m	28.5	24.8	26.9	18.9
o	15.4	11.1	11.5	13.2
e	19.2	29.1	23.1	18.9
欠損	1.5	0.0	1.0	2.8

表 2 選択数別基本カテゴリー反応例選択率

反応例	1択	2択	3択	4択
d1	10.8	11.1	16.3	23.6
d2	6.2	5.1	6.7	8.5
d3	14.6	16.2	12.5	11.3
d4	3.8	2.6	1.9	2.8
m1	4.6	7.7	9.6	6.6
m2	6.2	6.0	4.8	5.7
m3	16.2	11.1	11.5	5.7
m4	1.5	0.0	1.0	0.9
o1	4.6	1.7	3.8	4.7
o2	0.0	0.0	0.0	2.8
o3	7.7	8.5	6.7	3.8
o4	3.1	0.9	1.0	1.9
e1	2.3	11.1	7.7	6.6
e2	3.1	5.1	4.8	3.8
e3	0.0	2.6	2.9	1.9
e4	13.8	10.3	7.7	6.6
欠損	1.5	0.0	1.0	2.8